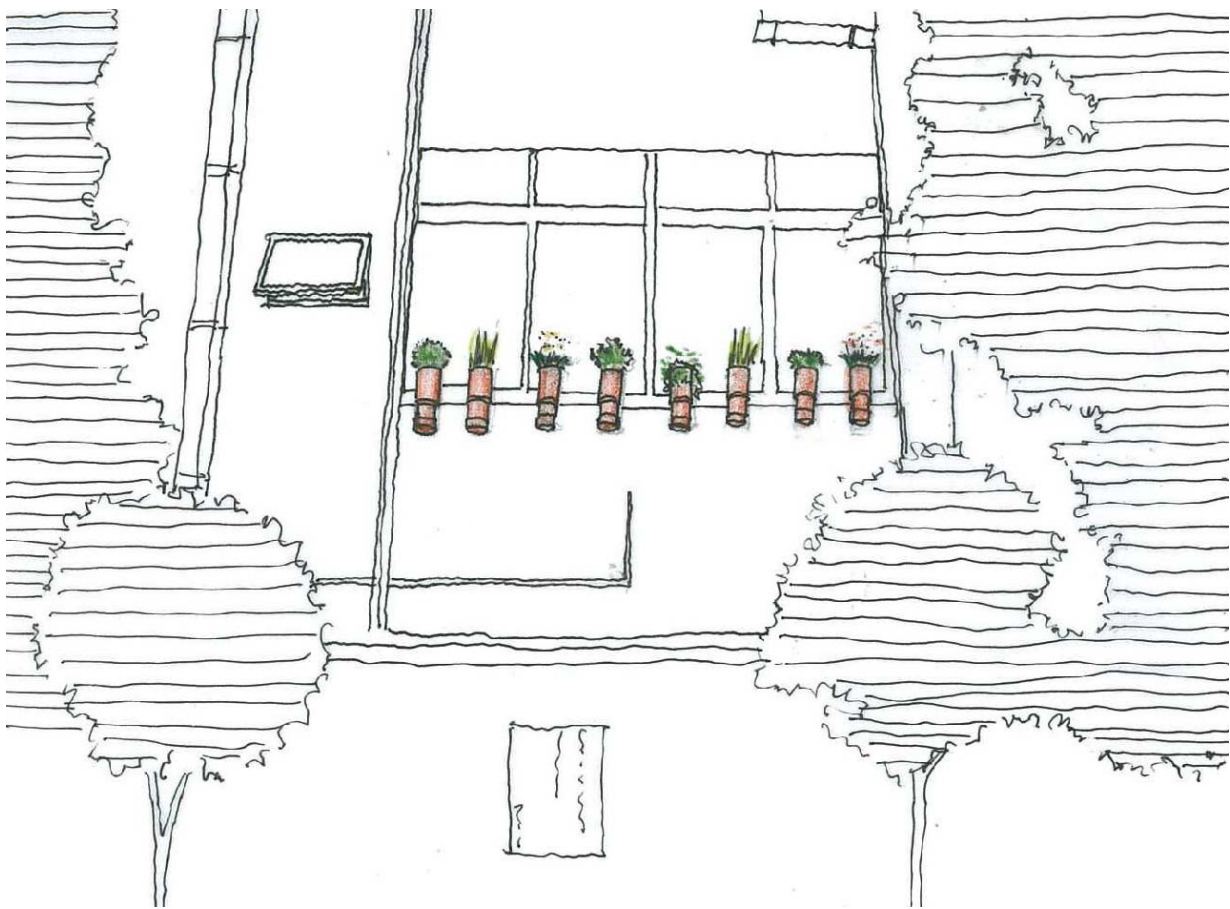


「窓花」プロジェクト



東横堀川の水辺に潤いと彩りをもたらす「ウォール・ポット」。個性の創出と景観との調和、連続的な統一感を紡ぎだし、東横堀川の水辺を飾るオリジナルアイテムとなります。

主な材料：塩化ビニールパイプ
 樋用の固定バンド
 ポット用土（軽量土壌）
 揚水力のある不織布
 軽量の鉢底石
 セレクトプランツ
 （花や葉に特徴のある植物を数種選択できる。）

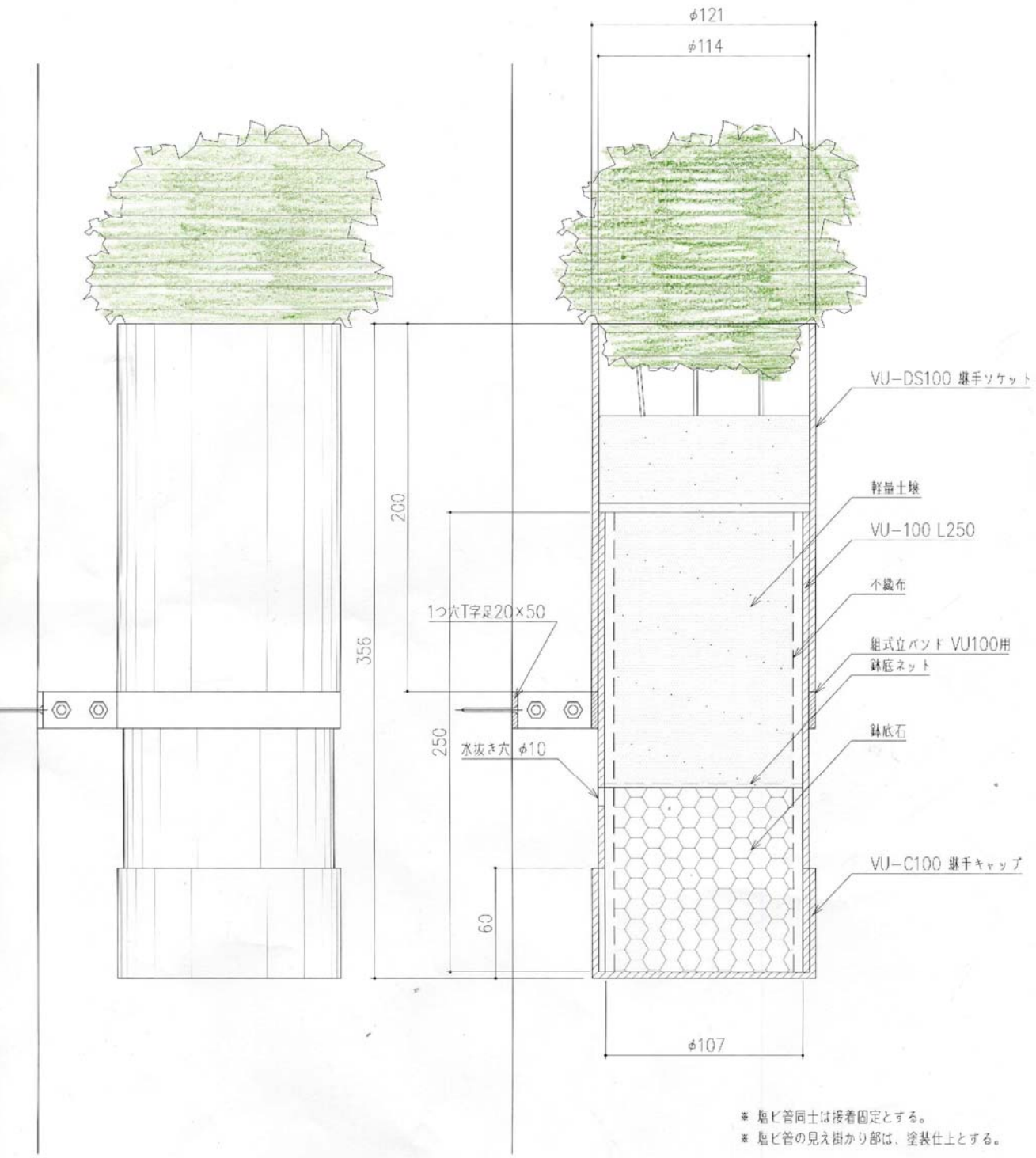
つくり方：水道のパイプとして普及している塩ビ管を活用した壁に取り付けるタイプのプランター。形状は統一し、色や装飾で個性を創出していきます。プランターの制作は業者発注とし、装飾を地元の人が行います。

取付方法：基本的には壁にビス留めする工法としていますが壁掛け式等、場所に合わせた改良が可能です。また、取り付け位置は自由にレイアウト可能です。（管理できる範囲で）

管理方法：管理しやすい植物を選択することがポイント。窓から、水やりが可能な位置に取り付けます。

概算価格：1基あたり
 4,000円～5,000円
 植物代を除く。

主な特徴：①装飾することが可能でどこにもないオリジナルなポットをつくることができます。
 ②窓のサイズや好みに合わせ、一個からの取り付けが可能です。
 ③ポットの下部は水を溜める装置となっており、乾燥時に水を吸い上げ、灌水します。



* 塩ビ管同士は接着固定とする。
 * 塩ビ管の見え掛り部は、塗装仕上とする。

